

< Take me out to the Eccentric's Den >

変人窟へ行こう



モンスターを倒せばさまざまな素材が見つかる。
魔触媒、コア素材、さまざまなアイテムたち。
今後の戦いのためにあなたの装備もまたパワーアップさせようではないか。

冒険の報酬は……

〈変人窟〉……それはアキバの街に存在する雑居ビルの名称であり、そこに集う一風変わった生産系ギルドの総称でもある。

冒険の結果手に入れた「魔触媒」や「コア素材」は魔法のアイテムの材料となる可能性があり、〈変人窟〉は〈冒険者〉のそういったニーズに応えることができる場所なのだ。

今回の「イントゥ・ザ・セルデシア：変人窟へ行こう」では、この〈変人窟〉を紹介する。ワールドガイド兼、サービス施設のデータとしてセッションに役立てて欲しい。

メンバー紹介

クリム：[ヒューマン] [守護戦士] [男性]
[武人] [熱血漢]

まだまだこの世界に不慣れな初心者の少年。それでも持ち前の明るさでみんなを引っ張り、守るパーティのムードメーカー。知識や戦闘中の作戦ではみんなに頼り気味。

シェイド：[猫人族] [暗殺者] [男性] [自由人] [紳士的]

落ち着いた物腰の紳士のような青年。ただ、その物腰とは裏腹にやけに芝居がかった所や珍しい物が好きな趣味を見てると実はまだまだ若いのかかもしれない。〈クリアクオリア〉ではメインの攻撃役を務めており、ダガーから繰り出されるダメージは消して小さくはない。クリムと話が合うようだ。

翠（みどり）：[狐尾族] [森呪遣い] [女性]
[為政者] [悪戯好き]

仲間を心身ともに癒やす〈クリアクオリア〉の紅一点。ギルドの仲間をからかって遊ぶのが好きなようだ。ただその分みんなをよく見て様々なフォローをしているため、彼女のフォローはメンバーの支えとなっている。最近はブルームーンで遊ぶのがお気に入り。

ブルームーン：[法儀族] [付与術師] [男性]
[知識人] [努力家]

的確な判断と支援を行う少年。大災害前とは違い、攻略サイトなどを見ることができないためか、どうやら少し勝手が違うようだ。それでも記憶している知識は多い。



これは素敵な短剣だ

下水道に居たエネミーを倒して、無事に少女を助け出したギルド〈クリアクオリア〉の4人。彼らは、連携に慣れることでこのセルデシアでの戦い方にも慣れてきたようだ。もちろん今回の冒険では換金できるアイテムもいくつか手に入れた。売ったお宝は山分けにして一夜の宴に興じた四人。しかしどうやら、まだ手元に残した物もいくつかあるようで……。

クリム：それで、この魔触媒って何に使うんだ、売って金にすればよかったんじゃないか？

シェイド：装備を強化できるんですよ。

翠：後は、特殊なマジックアイテム作るのにも使うわね。

ブルームーン：それで強化をするのはわかったが、ここはなんなんだ？

翠：ここは〈変人窟〉。まあ、生産系小規模ギルドの寄り合い所帯ね。

変人窟とは？

〈変人窟〉は生産系ギルド街最奥の巨大な廃ビルと、そこに拠点を構える小規模商業系ギルド群を指す俗称である。わざわざ不便な場所で店を構える彼らは、いずれも様々なこだわりを持った変わり者ばかりで、日夜新しいアイテムや珍奇な技術開発に余念がない。

〈海洋機構〉や〈ロデリック商会〉などと比べ規模が小さいだけにさまざまなニーズに柔軟に答えてくれるギルドがそろっている。またくせのある人物が多いことから、さまざまな設定をねじ込む余地がある場所である。

シェイド：（ここへ来るとなんだかぞくぞくするんだよね）

翠：こっちの方が面白い人が多いのよ。腕もいいしね。

シェイド：この人達の腕がいいのは認めますけど……。

比翼子：あら、今回はギルド全員で来たの？ 仲良くていいわねえ、本当羨ましい。

ブルームーン：受付かなにかか？

比翼子：入り口に店を構えてるだけだから気にしないで。ここにいると面白いことがいっぱい見られるし。

翠：そうそう。迷い込んで来る人もいるしね。

シェイド：あ、私はクリムと先に行ってますね。

クリム：あ、おい。

比翼子：もうすこしゆっくりしていけばいいのに。

翠：シェイドは、ここが初めてのクリムに色々とお教えることがあるのよ。それじゃまた後でね。

比翼子：そう色々…ね。それじゃあまたね。

そんなわけで〈変人窟〉の入り口で二手に分かれたギルド〈クリアクオリア〉の4人。クリムとシェイドは先行してその廃ビル遺跡へとはいってゆく。目指す店は〈パワードショップ〉。シェイドはこの店にコネがあるようだ。

クリム：翠とブルームーンを置いてきたけどいいのかなあ？

シェイド：調べ物もしていくそうですから。それに、話し込むと時間が取られますからね。

クリム：それでこの店だっけ？ 〈パワードショップ〉。

シェイド：強化の店ではここで一番大きいところ

ですから。

クリーム：でも一番大きい割には人が少ない？

シェイド：時間があってないんじゃないですか。
ここは不定期開店ですからね。

SE：カランカラン♪

プリアンジュ：そうなのよ。ま、うちはそういう
ギルドだからいいんだけど。ウチのみんなはだらし
ないところがあるから個人の裁量まかせね。

クリーム：店員さんだ。クリームっていうんだよろし
く。

プリアンジュ：よろしくね。わたしはプリアン
ジュ。この店長みたいなもの。

シェイド：ギルドマスターは別の人なんですけど
ね。それで今日あいてるのは誰です？

プリアンジュ：そうねえ。今はロボリコさんがあ
いてるかしら。そういうの好きだっけ？

クリーム：そういうの？ 何か違いがあるのか？
例えば性能があがるとかさ。

シェイド：性能は違いませんが、〈大災害〉
からあとは、こういう世界になっちゃいましたか
らね。使い勝手とか、重さとか、いろいろあるで
しょう？

クリーム：そういえば、そうか。

シェイド：実際に作って貰えばわかりますよ。今
日は、ファインダガーの威力をあげたいんですよ。

プリアンジュ：魔触媒はいくつつかうのかしら？

クリーム：数で何か変わるの？

シェイド：数が多いほど強い効果をつけられるん
ですよ。二ついれて「鋭刃」をお願いします。

プリアンジュ：わかったわ。それじゃあ少し待つ
てて。

プレフィックスドアイテムの作成方法は、簡単
に言えば「素材となるアイテム、必要な魔触媒、
製作費」を施設に持ち込むというものだ。今回
シェイドは、素材となるファインダガー、そして
魔触媒2つを持ち込んだ。つまり制作費30Gで
強化ができることになる。

ロボリコ：ほい、今日のは傑作だよ。

クリーム：どれどれ……。

ロボリコ：ああ、重心バランスをとってみたぞ。
前衛用には良いだろう？

鋭刃のファインダガー

片手	剣	軽量	M2
----	---	----	----

ランク	1	攻撃力	2	魔力	—
命中	+1	行動	—		
射程	至近		価格	110	

▶ 解説：刺突用の大ぶりの短剣。肉厚で刃こぼれしにくい。

▶ プレフィックスドアイテム効果：この武器による〔武器攻撃〕のダメージロールに+1Dする。

シェイド：いいですね。これなら右手でも左手で
も使える。

クリーム：強くなったのか？

ロボリコ：そこはしっかりしてる。ちゃんと威力
もあがってるさ。

シェイド：ほら、クリームも持ってみればわかりま
すよ。これで前回みたいに倒し損ねることもない
でしょう。次の冒険が楽しみです。

クリーム：シェイドがいいならいいんだ。一番の攻
撃役だからな、期待してるよ！

魔法の品ってお高いの？

ブルームーン：やけに受付と親しげだったじゃないか。

翠：あら、お姉さんにヤキモチかしら。ちょっとしたお友達なのよ。

ブルームーン：なんだそのウィンク。——それより目的の場所はわかるんだよな。

翠：ノリがわるいのは嫌われるわよ。ほら、こっち。

ブルームーン：わかったわかった。で、どこにいくんだ？

翠：前回の冒険で面白い物を見つけたでしょう？それを加工しようと思って。

ブルームーン：「古代の鉄棒〔コア素材〕（30G）」ってやつか？あの汚い棒を加工ねえ……。売ってしまっても良かっただろう？

翠：あら、そんなこと言っているのかしら？コア素材っていうのは強力なマジックアイテムを作るときに使う素材なのよ。それで、レシピを調べてきたのよ。

ブルームーン：あああの古本屋なら色々あったみたいだしな。それでわかったのか？

翠：さっぱり。やっぱり大災害前と違ってだめねー。攻略サイトみたいにはいかないわ。

ブルームーン：それじゃあ…何が作れるかもわからないだろ。

翠：大丈夫よ、代わりにそういうレシピ揃ってそうな場所を紹介して貰ったから。

ブルームーン：〈剣山刀樹〉って店の名前なのか。

そこにあったのはあちこちに商品らしきマジックアイテムが転がっている店だった。その大半は無骨な刀槍だが、三割くらいは杖や弓などの木製武器も混じっている。壁には代表的なレシピとレシピの改良を目指しているのか、新しいレシピの研究メモなどが貼り付けられている。

翠：そうね、すいません。ちょっといいかしら？

一平太：おう、〈剣山刀樹〉に何か用かい？武器なら何でも面倒見るぜ。

翠：比翼子からの紹介でね。コア素材があるから何ができるかなあって思って。

ブルームーン：古代の鉄棒っていうんだが。わかるか？

一平太：知らずに来たのか？あんたら向けのアイテムなのにさ。こいつは「焦燥の車軸」って杖の材料だよ。敵懐心を詠唱速度に変換する杖だな。行動が速くなるぞ。

翠：あら、便利じゃない。それで他の材料は？

一平太：オークのワンドが二本に魔触媒のランク2が2つ。あとは製作費だな。

ブルームーン：俺と翠のワンドはまあいいけれど。魔触媒もあったか。あ、ワンドを使うから買い足さなきゃいけないのか……。うーん。予算が厳しい。

翠：それくらいなら作っちゃいなさいよ。便利なものなんだしね。足りない分は出してあげるから。

ブルームーン：しかしみんなに相談もなくだな。

翠：おねーさんが決めたからいいの。ふたりで足りるんだし。その代わり、帰りのご飯はおごりね？ここに良い店あるのよ。

一平太：すっかり尻に敷かれてるなあ兄ちゃん。

ブルームーン：（聞こえない、聞こえないー）じゃあ、作成頼む。

一平太：まいどありい。まったくテレなくてもいいのに。

翠：そうよねえ。ほんと。

しばらく待った二人は繊細な装飾を施した短杖をうけとった。速度強化ももちろんだが、【魔力】もかなり強い逸品だ。

焦燥の車軸

片手 杖 非売品 M6

ランク 2 価格 340

▶**レシピ**：古代の鉄棒【コア素材】(40G) + オークのワンド(90G) × 2 + 【魔触媒2】(20G) × 2 + 製作費(80G)

▶**効果**：【攻撃力】2。【魔力】6。行動修正+2。射程：至近。
〔起動：セットアップ〕あなたの【行動力】に+【ヘイト】する。
この効果はラウンド終了時まで持続する。シーン1回使用可能。

▶**解説**：自分に向かう敵意を変換して、身体能力を引き上げる力を持つ金属製の短杖。焦りが深いほど、背中を押す力は強くなる。

ブルームーン：確かに、これは強力だな。これなら二人とも使えるし。

翠：あなたが使って良いわよ？ 先に支援してくれると助かるし。それに私は戦闘の様子を見て回復や攻撃を使い分けるしね。そんなことより二人と合流してご飯に行きましょうよ。お腹減ったのよ。ぶつわよ。

一平太：色気無いな。

ブルームーン：そうだな。シェイドの強化も終わっただろうし、次はどこに行くか決めないと。このワンドの使い勝手を試してみる必要がある。

翠：食事が先よ。

一平太：仲のいい連中だなあ。

翠：もう、素直にはやく使ってみたって言えばいいのに。さ、行くわよ、ブルームーン。お腹いっぱい食べたら、また冒険一緒にいったげるから！

ブルームーン：わかった、わかった。引っ張るな！ 一平太さん、また！

一平太：おう、またなあ！！

追加ユニオン

次のページから記載されているのは、今回紹介された〈変人窟〉にまつわる新しいユニオン、そして特殊なアイテム【サービス】の追加である。これらは『L H Z』ルールブックの「主要な組織と人物」(P 3 4 8)、および「一般アイテム：サービス」(P 2 2 3)と同様に使用できるよう設計されている。

今回追加されるデータは「サプリメント・グロッサリー：ネームドアイテム」と組み合わせて使うことで、よりいっそうあなたの冒険やシナリオ作成に役立つことだろう。

これらのユニオン、サービスはGMが自由にセッションに登場させることができる。また、ディベロッパーがシナリオやシーンのアイディアとして使用することもできる。単なるアイテムの販売や修理の施設としてだけでなく、素材の調達や試作品の試験といった冒険の導入としても利用してみてもいいだろう。

もちろん前項のミニリプレイのようにプレイヤー側からシーンを提案してもよい。冒険の合間の日常を彩るエピソードになるはずだ。

これらのデータがセッションに楽しみを与えてくれることを願っている。あなたのプレイに素晴らしい冒険と報酬がありますように！

剣山刀樹（けんざんとうじゅ）

Union

魔法の武器の作成に熱意を燃やす〈武器職人〉ふたりが立ち上げた武器工房。「武器を作る」行為そのものを愛好するため商売っ気は薄く、また難しいレシピほどやる気が上がるらしい。珍しい武器素材を手に入れた〈冒険者〉の噂が流れると、自ら押しかけて行って武器を作らせると頼み込むことも。

ウーツ＝K：〔冒険者〕〔男性〕〔ヒューマン〕〔暗殺者〕〔武具職人〕〔剣山刀樹〕〔職人〕〔情熱家〕

困難なレシピほどやる気が上がる生粋の武器製作マニア。いつも上半身裸で槌を振るっている。

一平太：〔冒険者〕〔男性〕〔ハーフアルヴ〕〔召喚術師〕〔木工職人〕〔剣山刀樹〕〔知識人〕〔頑固者〕

アキバでも珍しい器物召喚を得意とする〈召喚術師〉。魔法の杖や弓、槍などのレシピ収集に余念がない。

〈剣山刀樹〉

ランク：1 〔サービス〕

タイミング：レストタイム

あなたは〔剣〕〔刀〕〔槍〕〔槌斧〕〔鞭〕〔格闘〕〔杖〕〔弓〕〔投擲〕〔軽量〕のタグのいずれかを持つ I R 5 以下のネームドアイテムを入手することが出来る。コストとしてそのネームドアイテムのレシピにある材料すべてを必要とする。〔コネ：ウーツ＝K、一平太〕レシピのうち制作費から－（あなたの C R×1 0）G してもよい（最低 0 G）。

2 5 6（ニゴロ）

Union

最硬の防具を作り出すことを目標に掲げ、各種防具を作成する防具職人、フェーブラの構えた工房。基本的に作りおきの商品は扱わず、受注生産になる。彼の作り出す防具は高品質で信頼性も高いと評判なのだが、性能の確認と称して完成した防具を依頼主に試着させ、巨大なハンマーで殴ってくる「儀式」があるせいで製作の依頼は少ないようだ。

フェーブラ：〔冒険者〕〔男性〕〔ヒューマン〕〔守護戦士〕〔鎧職人〕〔2 5 6〕〔職人〕〔ロマンチスト〕

職人の手で〈幻想級〉を超える防具を作り出すことを目指す鎧職人。目を離すと、すべての生活費を素材や研究費などに費やしてしまうために、目の下に隈を作っていることも多い。

ミホシ：〔冒険者〕〔女性〕〔猫人族〕〔森呪遣い〕〔裁縫師〕〔2 5 6〕〔職人〕〔やりくり上手〕

フェーブラのロマンに共感して弟子入りした裁縫師。経済感覚の乏しい店主に代わって〈2 5 6〉の切り盛りを一手に引き受ける。

〈2 5 6（ニゴロ）〉

ランク：1 〔サービス〕

タイミング：レストタイム

あなたは〔重鎧〕〔中鎧〕〔軽鎧〕〔盾〕のタグのいずれかを持つ I R 5 以下のネームドアイテムを入手することが出来る。コストとしてそのネームドアイテムのレシピにある材料すべてを必要とする。〔コネ：フェーブラ〕レシピのうち制作費から－（あなたの C R×1 0）G してもよい（最低 0 G）。

寝寝子屋（キャットナップ）

Union

〈変人窟〉の片隅で営業している個人経営の細工物屋。決まった店舗を持たず、通路の床に敷物を広げて商品を並べる、いわゆる露天商なのだが、店主は営業時間のほとんどを床の上に座り込み、寝てすごしている。客が訪れれば目を覚ますのだが、少しでも目を離すとすぐに舟をこぎ始めるため、何かの作成を頼むときは少々根気が必要かもしれない。

店を広げる場所も気まぐれで、日当たりや天気によってはどこかのビルの屋上や、大通りにいることもあり、客が店を探し回っている光景もよく見られる。

〈寝寝子屋〉の周辺では多くの野良猫と出会うことが出来る。どの猫も穏やかな性格で、逃げ足が遅いために、猫好きからは猫撫でポイントとしても知られている。

“眠り猫耳”灰羽紫苑：〔冒険者〕〔女性〕〔エルフ〕〔神祇官〕〔細工師〕〔寝寝子屋〕〔自由人〕〔マイペース〕

猫耳のついたフードやカチューシャを愛用するマイペースな〈神祇官〉。〈大災害〉以前より「寝落ち」の常習犯だった。

〈寝寝子屋〉

ランク：1 [サービス]

タイミング：レストタイム

あなたは〔補助装備〕〔鞆〕のタグのいずれかを持つIR5以下のネームドアイテムを入手することが出来る。コストとしてそのネームドアイテムのレシピにある材料すべてを必要とする。〔コネ：灰羽紫苑〕レシピのうち製作費から－（あなたのCR×10）Gしてもよい（最低0G）。

パワードショップ

Union

営業時間が一定せず、早朝から開いているときもあれば、夕方から看板を出す日もある生産系ギルドショップ。アイテム改造、魔力付与を専門に扱う。魔力付与によるマジックアイテム作成は、その手軽さから需要も高く、〈変人窟〉に集まる雑多なギルドのなかでは店舗規模も大きく、所属する職人の数も多い。とはいえそこは〈変人窟〉、同じアイテムを同じように強化したのに、担当した職人によって外見がまったく違ってしてしまうようなことも日常茶飯事である。

プリアンジュ：〔大地人〕〔女性〕〔エルフ〕

〔家政婦〕〔パワードショップ〕〔一般人〕〔苦労人〕

〈パワードショップ〉の実際的な意味では店長。二十代に見える真面目系眼鏡エルフ。責任感が強くて気遣いも出来るが、帳簿と金庫のお金があわないと発狂する。

ロボリコ：〔冒険者〕〔男性〕〔法儀族〕〔召喚術師〕〔刻印術師〕〔パワードショップ〕〔職人〕〔慈悲深い〕

〈パワードショップ〉の職人。〈擬態魔〉との契約を好むパペットマスターで、〈彷徨う鎧〉のジョーをはじめとして店内の各所に様々なミミックを潜ませている。

〈パワードショップ〉

ランク：1 [サービス]

タイミング：レストタイム

あなたはIR5以下のプレフィックスドアイテムを入手することが出来る。コストとしてそのアイテムの価格を必要とする（『LHZ』P229参照）。〔コネ：プリアンジュ〕必要な価格から－（あなたのCR×10）Gしてもよい（最低0G）。

アキバ大博物館

Union

ヤマト各地で産出される様々な魔法素材をひたすら収集し、天井や壁、果ては床の上にまでギッチリと展示している。魔法素材や珍品を収集し、見せびらかすこと自体が目的であり、販売するための施設ではないが、交渉次第では格安で譲ってもらえることもあるようだ。

「鉄扇の」デリカ：〔冒険者〕〔女性〕〔ドワーフ〕〔武闘家〕〔交易商人〕〔大アキバ博物館〕〔商人〕〔目利き〕

素材収集担当の〈武闘家〉。大地人との取引から自力での素材調達までこなすパワフルな女性。機嫌を損ねると鉄扇が飛んでくるので要注意。

〈アキバ大博物館〉

ランク：1 〔サービス〕

タイミング：レストタイム

あなたは「財宝表（換金アイテム）」で財宝表ロールを1回行なう。コストとして【因果力】2点を必要とする。〔コネ：デリカ〕財宝表ロールの結果を+8してもよい。〔CR6〕このサービスを利用できない。

〈アキバ大博物館・裏メニュー〉

ランク：2 〔サービス〕

タイミング：レストタイム

あなたは「財宝表（魔法素材）」で財宝表ロールを1回行なう。コストとして【因果力】2点を必要とする。〔コネ：デリカ〕財宝表ロールの結果を+8してもよい。〔CR8〕このサービスを利用できない。

レイパーカー． j r

Union

アキバの冒険者なら知らぬものはない、とまで言われる人気メニュー〈明太子ホットサンド〉。その火付け役として、小規模ながらも有名な料理ギルド。アキバ駅構内にある販売用店舗は、今でもランチタイムには行列ができる人気店である。〈変人窟〉にあるのはギルド厨房なのだが、こちらでも同様のメニューを、しかもできたてで買うことが可能なため、アキバ通はこちらに足を伸ばすという。

ラブ：〔冒険者〕〔女性〕〔狼牙族〕〔吟遊詩人〕〔料理人〕〔レイパーカー． j r〕〔芸術家〕〔情熱家〕

「料理は愛情！」を合言葉に、自由奔放な発想で創作料理を生み出す炎の料理人。宣伝ソングの作詞作曲も担当したが壊滅的な音痴なので歌わせてもらえない。

リミット：〔冒険者〕〔男性〕〔ハーフアルヴ〕〔守護戦士〕〔料理人〕〔レイパーカー． j r〕〔為政者〕〔理知的〕

仕入れや経理を担当する番頭役で、暴走しがちなラブにブレーキをかけられる唯一の人物。納得できない料理は売りに出さない主義で、早めに店を閉めてしまうこともしばしば。

〈レイパーカー． j r〉

ランク：1 〔サービス〕

タイミング：レストタイム

あなたは「お好みサンドイッチ」、「シェフの気まぐれピザ」、「ベリーのタルト」を購入することができる。購入したアイテムは「美味しい」タグを持つ。〔コネ：ラブ、リミット〕「クラブサンドバスケット」を購入することができる。このアイテムは「美味しい」タグを持つ。

アメノマ

Union

武器を生産できる職人の中でも特に「刀」に魅せられた者たちがばかりが集まった、刀専門の生産ギルド。ヤマトでも希少な高レベルの〈刀匠〉も所属しており、その品揃えは業物ばかり。刀だけではなく、それを作る職人も皆、刀に負けず劣らずの個性的な、そして頑固な面々がそろっている。

多々良：〔冒険者〕〔女性〕〔ドワーフ〕〔武士〕〔刀匠〕〔アメノマ〕〔職人〕〔職人氣質〕
アメノマのギルドマスター。人見知りで寡黙だが腕は一流の〈刀匠〉。

〈アメノマ〉

ランク：1 〔サービス〕

タイミング：レストタイム

あなたは〔刀〕タグを持つI RがC R以下のアイテムを購入することができる。〔コネ：多々良〕入手したアイテムに〔多々良作〕のタグを追加する。〔因果力1〕〔非売品〕タグを無視して購入しても良い。

Undo (アンドゥ)

Union

最近大手ギルドから独立して営業開始した修理専門の個人商店。戦いで破損した装備も新品同様になって戻ってくると評判。装備の修繕に限らず、飲み物をこぼした巻物のクリーニングのようなものまで、修理、修復作業なら何でもこなす。また屋根の修繕や、生け垣、石壁の修復といった〈大地人〉からの依頼も格安でこなしているため、〈冒険者〉以外にも幅広いコネクションを持つようだ。

あんどー：〔冒険者〕〔男性〕〔法儀族〕〔付与術師〕〔修理屋〕〔Undo〕〔職人〕〔世話好き〕
もと〈海洋機構〉所属の〈付与術師〉。壊れたものを修理することに無上の喜びを感じる。修理をする時のかけ声は「こんとろーる、ずええっ！」である。

〈Undo (アンドゥ)〉

ランク：1 〔サービス〕

タイミング：レストタイム

〔破損〕タグを持つアイテムを対象とする。そのアイテムから〔破損〕タグを取り除く。このサービスの価格は、修理するアイテムの価格の1/2となる。〔コネ：あんどー〕あなたは〔アイテムの価格の1/10〕Gを得る。